

今月の題字



熊野高等学校 3年生  
荒瀧 祥子さん

町の人口と世帯数

平成23年2月28日  
(前年同月比較)

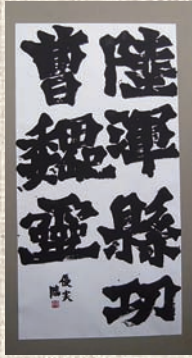


熊野高等学校 2年 奥田 有衣



【評】この作品は湖畔近くの建物から見た風景で、窓ガラスに水滴がついている様子を細かく表現しています。全国総文祭に県代表として出品されます。

熊野高等学校 3年 後迫 優実



【評】羊毛の長鋒筆を使い、躍動感あふれる堂々とした作品に仕上げました。白い紙面を黒で攻める重厚な書を目指し、高校生活最後の作品です。

熊野の自然 (259)

ヤマザクラ

(バラ科)



文学や美術に多く登場し、日本人に最も愛されているサククラ。サククラ属の中のサククラ亜属の総称です。日本に約10種、変種などを含むと約100種が自生し、園芸品種は200〜300といわれます。現在、サククラといえはソメイヨシノが浮かびますが、古くはヤマザクラを指していました。新葉とともに咲く姿に風情があり、本居宣長の「敷島の大和心を人問はば朝日に匂ふ山桜花」は有名です。奈良県吉野山はヤマザクラの名所です。

開花は田の神の出現を示すとされ、農作業の目安としたり、開花状況で豊作かどうかを占ったりしました。花は一つの芽から2〜5個咲き出ます。実はほぼ球形で、直径は7〜8mm。5〜6月に黒っぽく熟します。材は緻密で香りがあり家具や彫刻、版木などに、チップは燻製作りに使います。樹皮は独特の光沢があり、丈夫です。茶筒や小箱など細工物に利用します。分布は宮城県以西。葉裏は白っぽく、葉柄上部に2個の蜜腺があります。花や萼、冬芽などは無毛です。サククラの中ではエドヒガに次いで寿命が長く、大木になります。県最大の巨木は東城・千鳥別尺にあり、幹囲45m、推定400年です。町内一の大木は幹囲25m、道上奥の石岳山登山口から少し進んだ左にあります。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

■東北関東大震災に関連した熊野町の対応

＜金銭的支援＞

・役場、各公民館、図書館、町民体育館、各地域健康センター、中央ふれあい館、筆の里工房に義援金箱を設置し受け付けています。また、町から300万円の義援金を支出しました。

＜物資支援＞

・3月16日(水)に広島県を通じて、町内で備蓄していた乾パンなどの物資を被災地へ送りました。  
・3月23日(水)から30日(水)まで、皆さんからの救援物資を受け付け、広島県を通じて被災地へ物資を送りました。今後も広島県からの要請があった場合には、皆さんのご支援をお願いします。

＜その他＞

・役場内に支援対策本部を設置し、人的支援等の様々な要請にも対応できるよう体制を整えています。